

様式 Z - 7

科学研究費助成事業 実績報告書（研究実績報告書）（平成29年度）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	32604
研究 代表者	部局	人間生活文化研究所		
	職	講師		
	氏名	下田 敦子		

1. 研究種目名 基盤研究(B)(海外学術調査) 2. 課題番号 26301001

3. 研究課題名 東南アジア伝統衣服製作技術体系の解明と伝承教育最適化のためのプログラム開発

4. 補助事業期間 平成26年度～平成29年度

5. 研究実績の概要

研究期間全体のフローは 現地調査準備:調査員研修 各民族の現存する衣服製作の技術要素調査(1次調査)を行い現状を把握 技術要素の項目の抽出 以下、3つの研究過程(a,b,c)に分かれる。 a 衣服製作技術の保存: a1 を深化させた精密な技術要素調査(2次調査)を行い a2 前のa1で用いる現地語用語集の編纂 a3 a1の映像等を保存し図録、用語集を作製。 b 技術要素による民族グループ分類: b1技術要素の存在確認データ b2クラスター分析して民族を技術要素の共通性で分類する。 c 技術習得プログラムの開発: c1技術習得状況調査(3次調査) c2データセット作成 c3個々の技術要素の習得水準の計量 c4 b2の結果から民族グループ別に因子分析し共通因子の抽出 c5 項目反応理論を適用し解析する。技術要素の学習順序を難易度で最適化し c6年齢変数によりc5を調整し学習最適年齢を求める c7技術習得プログラム(冊子)の開発 c8学校実習授業での検証 c9まとめと報告。

平成29年度は、初年度より継続して行ってきたa衣服製作技術の保存の研究を完了させた。技術習得プログラムの有効性を、c8実習授業での検証により明らかにした。具体的には、4月は実習授業の準備を行い、5月から9月には実習授業の実施と技術習得プログラムの有効性を調査し、収集したデータの解析をした。その結果を関係する現地協力機関に報告し(c9)、共同研究者らと開発したプログラムの妥当性、技術習得の精度について検討した。3月には現地協力者(教育関係者)らと学校教育における伝承技術の教育について協議した。その内容を「技術習得プログラム」に反映させ、報告書を作成し現地協力機関に報告した。

6. キーワード

無文字社会 伝統衣服製作技術 身体技術の伝承 伝承方法の最適化 項目反応理論

7. 現在までの進捗状況

区分
理由
29年度が最終年度であるため、記入しない。

1 版

8. 今後の研究の推進方策

29年度が最終年度であるため、記入しない。

9. 次年度使用が生じた理由と使用計画

29年度が最終年度であるため、記入しない。

10. 研究発表（平成29年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 2件 / うち国際共著論文 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Atsuko Shimoda and Seiji Ohsawa	4. 巻 27
2. 論文標題 Perception of neck ring wear using SD Method	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Human Culture Studies	6. 最初と最後の頁 638-644
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.9748/hcs.2017.638	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 下田敦子、大澤清二	4. 巻 27
2. 論文標題 カヤン女性の首輪による身体変工の美醜に関する計量的研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人間生活文化研究	6. 最初と最後の頁 610-620
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） https://doi.org/10.9748/hcs.2017.610	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計4件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 下田敦子、大澤清二、タンナイン、ジョネイ
2. 発表標題 園芸的村落・部落社会において生存を支える生活技術と身体性の再構築 カレン支族幼児児童の調査データの解析から
3. 学会等名 日本発育発達学会第16回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大澤清二、下田敦子、S.シスコタミット、N.プラディット
2. 発表標題 思春期の発育スパートを認めない狩猟採集民の存在（思春期スパートは人に普遍的に認められる現象ではなさそうである）
3. 学会等名 日本発育発達学会第16回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中西純、アチャウシャ、下田敦子、大澤清二
2. 発表標題 肉類を摂取しないカースト（ネパール）の子どもは発育期に何を食べているか
3. 学会等名 日本発育発達学会第16回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 アチャウシャ、中西純、下田敦子、大澤清二
2. 発表標題 Development process of life skills of Nepal Highland residing Sherpa and Bhotiya children: Part 2
3. 学会等名 日本発育発達学会第16回大会
4. 発表年 2018年

1版

〔図書〕 計1件

1. 著者名 下田敦子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 家政教育社	5. 総ページ数 133
3. 書名 (ミャンマー語版)カヤン女性の身体変工・装飾と価値体系 ミャンマー最深部に於ける2013-2014年生活実態調査より	

1 1. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件(うち出願0件/うち取得0件)

1 2. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4. 備考

-